

松浦民報

2017年 8月

発行 日本共産党松浦市委員会 電話・FAX 0956-75-1947
ブログ「ゆう子のひろば」<http://blog.goo.ne.jp/yukoyayukoya>



日本共産党松浦市議会議員
**安江ゆう子の
市議会だより**

市民の期待に応える医療提供体制を

日本共産党の安江ゆう子市議は定例6月議会で、子ども達の登下校時の安全、玄海原発の再稼働問題、JR九州ファーム(株)の農業参入、障害福祉サービスと介護保険制度の適用関係、伊万里松浦病院移転問題など6点について一般質問をしました。

伊万里松浦病院の移転建て替えは、市民の期待も大きく、松浦市では11団体が要望書を出しています。この要望書は、松浦市に2次救急、小児夜間救急を作ってほしいというものです。

安江ゆう子市議は、市民の要望をかなえ、高齢者も安心

伊万里松浦病院の移転のために鷹島と福島の療養病床がゼロになるという事になっていますが、施設介護を必要とされる方について、財政面もふくめどのようなお考えですか。

安江 伊万里松浦病院の移転のために鷹島と福島の療養病床がゼロになるという事になっていますが、施設介護を必要とされる方について、財政面もふくめどのようなお考えですか。

健康ほけん課長 開設時において、2次救急までは厳し

市長 非常に市民の期待が大きいです、その期待に出来るだけ沿えるよう調整をしていきたい。まずは、過剰病床地域ですので、県の医療審議会等々の条件整備に全力を挙げて参りたい。

松浦市内で3、4月に小学生への車での付きまといや声掛け事案が発生しています。安江ゆう子市議は、子どもたちが安心して登下校できる環境づくりは大人の責任であり未然防止のために、学校や行政

健康ほけん課長 開設時において、2次救急までは厳し

松浦市内で3、4月に小学生への車での付きまといや声掛け事案が発生しています。安江ゆう子市議は、子どもたちが安心して登下校できる環境づくりは大人の責任であり未然防止のために、学校や行政

※救急医療体制とは

救急告示病院＝病院の診療可能な範囲で急患を受け入れます。

二次救急＝入院や手術を必要とし、救急車で搬送される。佐世保市総合医療センター、佐世保中央病院、佐世保共済病院、長崎労災病院、北松中央病院、など病院群輪番制を取っています。

初期救急(一次救急)＝現在の松浦市のように入院や手術を伴わない医療で、医師会で在宅当番医制などをとって

三次救急＝二次救急まででは対応出来ない、重篤な疾患や多発外傷に対応します。県北地域では佐世保市総合医療センターの救命救急センターがあります。

子ども達の登下校時の安全を

松浦市内で3、4月に小学生への車での付きまといや声掛け事案が発生しています。安江ゆう子市議は、子どもたちが安心して登下校できる環境づくりは大人の責任であり未然防止のために、学校や行政

松浦市内で3、4月に小学生への車での付きまといや声掛け事案が発生しています。安江ゆう子市議は、子どもたちが安心して登下校できる環境づくりは大人の責任であり未然防止のために、学校や行政

玄海原発の再稼働はさせない

3月15日、16日の県主催市民説明会後、市長は「玄海原発再稼働は容認できない」と表明され、市民は、次はどの様な手を打たれるのか、県に対してどう行動されるのか、と期待しています。

安江ゆう子市議の質問に対し、市長は「市民の生命と財産を守るために、安全協定の事前了解とすることをめざし、県、九電に、しっかり対応していく。原発から30キロ圏の同意権の法的な整備を国に求める様県に要望していく」と答えました。



伊万里松浦病院

安江 小児夜間救急を求める市民の要望もあります。また



3月15日、16日の県主催市民説明会後、市長は「玄海原発再稼働は容認できない」と表明され、市民は、次はどの様な手を打たれるのか、県に対してどう行動されるのか、と期待しています。

安江ゆう子市議の質問に対し、市長は「市民の生命と財産を守るために、安全協定の事前了解とすることをめざし、県、九電に、しっかり対応していく。原発から30キロ圏の同意権の法的な整備を国に求める様県に要望していく」と答えました。